

北大阪健康医療都市の取組みについて

- (1) 吹田市「北大阪健康医療都市における健康・医療のまちづくり加速化プラン」(健都版生涯活躍のまち基本計画)の策定について

資料 3 - 1

- (2) 健都イノベーションパーク事業者募集等について

資料 3 - 2

- (3) おおさか・すいたハウス移転支援寄附について

資料 3 - 3

- (4) 健都 2 街区高齢者向けウェルネス住宅整備・運営事業の再公募について

資料 3 - 4

健都版 健康・医療のまちづくり加速化プランの策定に向けて

健都版 生涯活躍のまち(CCRC)基本計画

吹田市
平成28年12月14日

資料3-1

1. 背景

- 北大阪健康医療都市（健都）では国循をはじめとする各事業主体による施設整備が進捗、各種機能の検討が具体化
- 各事業主体が展開する「健康・医療」の要素を盛り込んだソフト事業の連携が今後重要となる

●吹田操車場跡地まちづくり全体構想（2007）

「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」の創出

●東部拠点のまちづくり計画、環境まちづくり計画（2009）

「エコメディカルシティの創生」

●吹田市「健康・医療のまちづくり」基本方針（2014）

「市民を中心にまちぐるみで循環器病を防ぎ、元気で長生き！」

－市民の健康寿命の延伸、健康医療のまちづくりの「吹田モデル」

●国立循環器病研究センターを核とした医療クラスター形成の基本的な考え方（2014）

循環器病の予防と制圧、オープンイノベーション、国際級の複合医療産業拠点の形成

●吹田操車場跡地まちづくり実行計画（2015）

- －予防医療や健康づくりを推進、健康寿命を延伸
- －関連産業の誘致を進め、国循を中心とする医療クラスターを形成

●北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりに関する考え方について 中間報告（2015）

- －生活習慣病予防・健康づくりに関する先進的なモデル地域の形成
- －地域医療の質の向上等に資する取組の推進

●吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2016）

・「生涯活躍のまち」（健都版C C R C構想）の取組

- －高齢者向けウェルネス住宅の整備
- －健康増進公園、健都ライブラリーの整備
- －健康・生きがいづくり、就労、社会活動、生涯学習等の環境整備

取組の進展を踏まえた、健都ならではの
先駆的な健康づくり生きがいづくりの創出のためのプランへ

2. 目的

- 健都に集積する各施設による取組を踏まえ、「健康・医療のまちづくり」を加速化、市民の健康寿命の延伸を目指す
- 各主体による「健康・医療」をキーワードとするソフト事業の把握、連携可能な取組の抽出・展開
- 健都での今後の取り組み方針を再整理
- 国の「生涯活躍のまち構想」を踏まえ、地方創生に係る交付金の導入も視野に



既存の取組／今後の取組の一例

- ・国循、OICでの研究開発、実証フィールド
- ・新たなコホート、意識啓発、健康ポイントでの行動変容
- ・健康増進公園、駅前複合商業施設等での交流拠点の形成、健康サポーター講座等の人材育成



③産業の創出、高齢者の活躍の場

- ・食や運動、スモークフリーによる生活習慣病予防
- ・データ分析等による健康指導
- ・かるしおプロジェクト等による普及啓発
- ・健都グリーンウォーク等の運動プログラム



②日常的な介護予防・健康推進

- ・高齢者ウェルネス住宅でのサービス提供
- ・地域包括ケアシステムの構築
- ・一次医療から高度医療までの一貫体制



①医療・介護サービスによる安心の提供



取組の場・主体等

- ・健都イノベーションパーク
- ・健康増進公園
- ・健都ライブラリー
- ・駅前複合商業施設
- ・国立循環器病研究センター
- ・市立吹田市民病院
- ・高齢者ウェルネス住宅
- ・大学
- ・行政
- ・地域活動団体
- ・市民 等

<既存の取組／今後の取組の概要>

3. プランの骨子（案）

- 各事業主体が持つ本来の役割を踏まえつつ、各施設の整備を契機にした、健康・医療をキーワードとした連携を目指す。
- 各主体の「健康・医療」に関わる取組を相互に連携、先駆的な循環器病予防モデルの構築・展開、産官学連携による最先端医療・医療技術開発等といった『医療クラスターの形成』と『市民の健康づくり、生きがいづくり』を両輪として、科学的知見に基づく健康教育・活動等の行動変容の推進など、これらの相乗効果が発揮される環境整備を展開。

<取り組み方針（案）>

1) 健康、生きがいづくり

- 生活習慣病予防に向けた行動変容、適切な理解
- 食、運動、社会参加などのライフスタイルの発信・取組のサポートを通じた健康増進
- 地域に住み続けられる医療介護サービスの提供

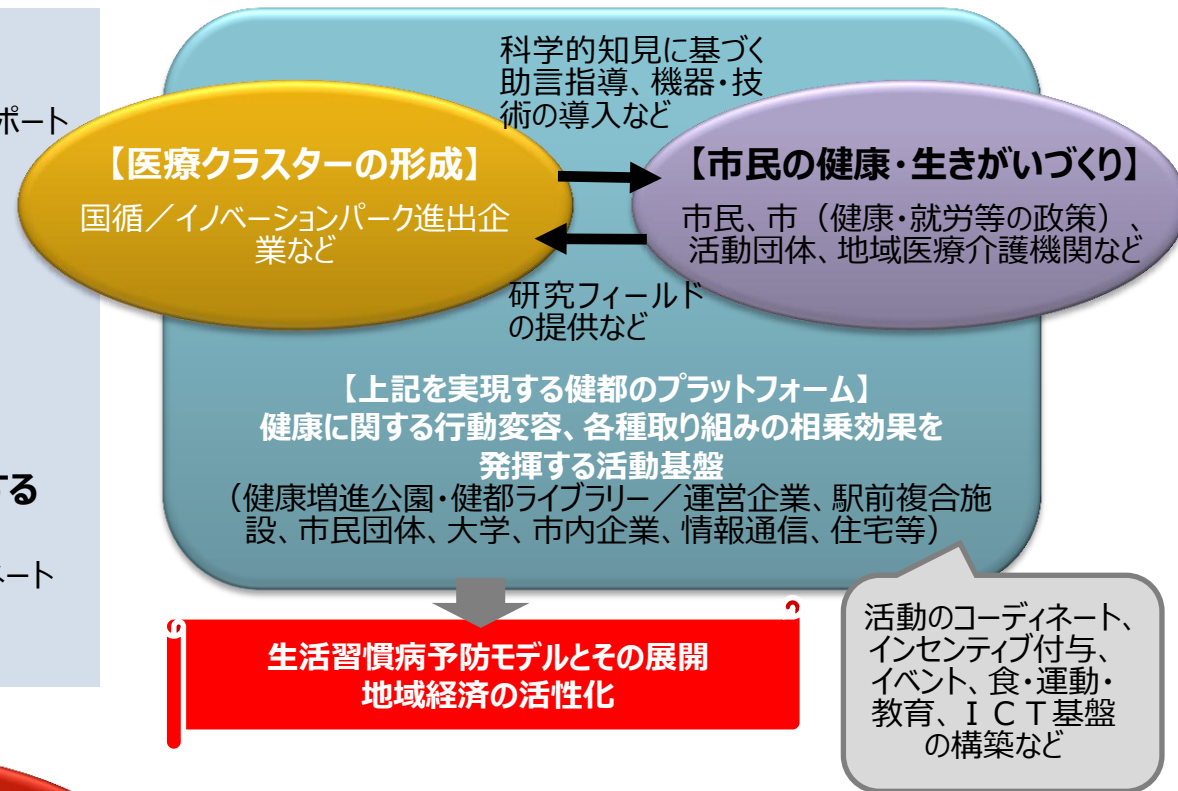
2) 医療産業クラスターの形成

- 生活習慣病等の予防と治療、先制医療の実現
- オープンイノベーションの推進
- 地域の産業拠点の形成と活性化、雇用創出

3) 上記を両輪とした健康増進、行動変容を推進するプラットフォームの構築

- 健都内の各者の取組みの相乗効果を発揮するコーディネート体制
- ICT基盤の構築を通じた健康指導、研究開発の促進

<概念図>



新たなキャッチフレーズ（宣言）へ

～健都での取組や目指す姿を一言で言い表す宣言～

<これまでのキャッチフレーズ>

- ✓ 「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」、「エコメディカルシティの創生」
- ✓ 循環器病の予防と制圧、オープンイノベーション、国際級の複合医療産業拠点の形成

4. 策定スケジュール（案）

業務内容	2016年					2017年			
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各種調査・分析 関係者ヒアリング等	←-----→								
加速化プランの策定					● 加速化プラン（素案）	● 加速化プラン（案）	←-----→ パブリックコメント	● 加速化プラン策定	
会議等				関係者会議等での意見交換 （健康・医療のまちづくり会議等）					
				学識経験者等への意見聴取 庁内検討会議等の開催					

健都イノベーションパーク事業者募集等について

- ・売却により事業者募集を開始し、来年2月に1件選定予定です。
- ・国立健康・栄養研究所の移転場所は、健都イノベーションパークの画地「カ」を想定し、関係機関と協議等を行っています。

1 事業者募集について

(1) 事業者募集の概要

本年8月29日から、事業者募集を開始しました。健都イノベーションパーク内の5画地(【図】の画地 ア～オ 約2.3 ha)を対象とし、公募型プロポーザル方式によって提案を募り、土地の売却を行う予定です。

今後、外部有識者を含む委員で構成する事業者選定会議での審査を経て、最も優れた提案1件を選定します(来年2月(予定))。

(2) 提案を募集する企業及び施設の内容

国立循環器病研究センターを中心とした複合医療産業拠点の形成をけん引する企業であることを要件とし、医薬品、医療機器、再生医療等製品、健康関連分野における製品・サービス等の研究所又は研究機能を併せ持つ施設の提案を募集しています。

2 今後の方針等について

(1) 次回の事業者募集について

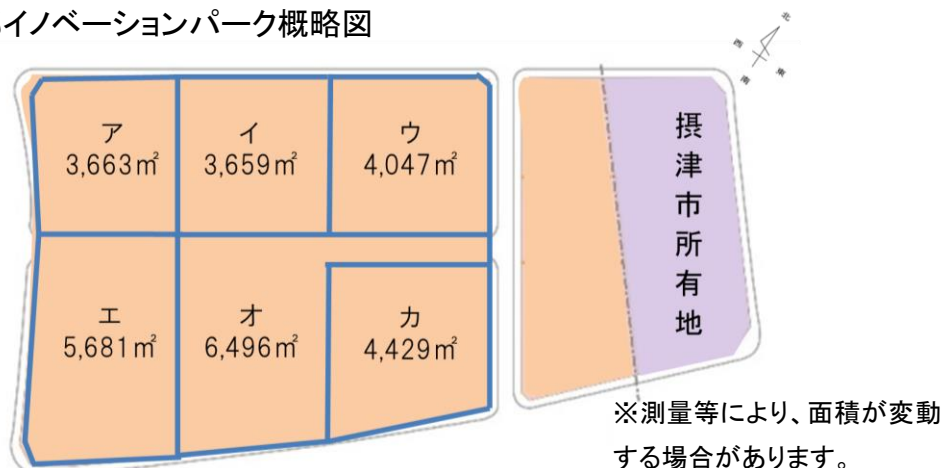
事業者選定後、その提案内容や利用する画地、市場ニーズの動向等を踏まえ、改めて募集方針の検討を行い、翌年度中に次回の募集を予定しています。

(2) 国立健康・栄養研究所の移転について

現在、大阪府が主体となって、今年度中を目途に国立健康・栄養研究所の全部移転に向けた成案を得るため諸条件(移転実現の可否、建築手法及び地元の受け入れ体制等)の協議等を進めています。

本市としては、同研究所の移転場所として【図】の画地 カ を想定しており、随時、大阪府、厚生労働省及び同研究所と協議等を行っています。

【図】 健都イノベーションパーク概略図



おおさか・すいたハウス移転支援寄附について



おおさか・すいたハウス
支援基金

1. 移転支援寄附について

寄附目標額:2億円

平成31年度を目処とした国立循環器病研究センターの北大阪健康医療都市（健都）への移転に伴い、同センターに入院する病気で闘う子供たちとその家族を支えてきた滞在施設「おおさか・すいたハウス」の移転を支援するため、各方面からの寄附を募集しています。

2. おおさか・すいたハウスの概要

国立循環器病研究センターに入院する小児患者のご家族が、1人1日1,000円という少ない負担で宿泊できる滞在施設として、国立循環器病研究センターの向かい側、窓から病院が見える場所、吹田市青山台に平成17年（2005年）10月オープンしました。

運営は、多くの地域ボランティアや寄附により賄われており、18家族が滞在でき、子どもや家族が安心して“我が家のようにくつろげる第2の家”を目指した運営を行っています。これまでの約10年間で延べ5,000以上のご家族が利用し、宿泊は43,000泊に及んでいます。

3. 現在の寄附の状況

①寄附総額（H28.12.5現在）

- ・件数：**542件**
- ・金額：**101,239,009円**

②PR活動

(1)「おおさか・すいたハウス
移転支援募金委員会」の設立



(2)その他 イベントブース展示等

(ロハスフェスタ万博)



(第33回みんなの健康展)



健都 2 街区高齢者向けウェルネス住宅整備・運営事業の再公募について

1 健都 2 街区高齢者向けウェルネス住宅の概要

健都 2 街区高齢者向けウェルネス住宅は、居住するすべての人が、できる限り健康の保持・増進に努め、生きがいを持ち、自分らしく、安心安全で豊かな生活を送ることができるという基本的な考え方をプラットフォームに据え、

- ① 生活習慣病予防や介護予防を特に意識したウェルネス機能
- ② 地域包括ケアシステム機能
- ③ 北大阪健康医療都市内外の関係機関等との連携による付加価値機能

という 3 つの特徴を持つ住宅環境のモデルケースとして、その整備を目指すものです。

2 公募に係る経過（主要なもの）

NO.	内容	日程	備考
1	事業用地の購入	平成 27 年 (2015 年) 9 月	鉄道・運輸機構から購入
2	住宅整備方針の策定	平成 27 年 (2015 年) 12 月	健都 2 街区高齢者向けウェルネス住宅整備方針
3	募集要項等の公表・事業者募集	平成 28 年 (2016 年) 3 月～6 月	参加表明事業者全社辞退の申出

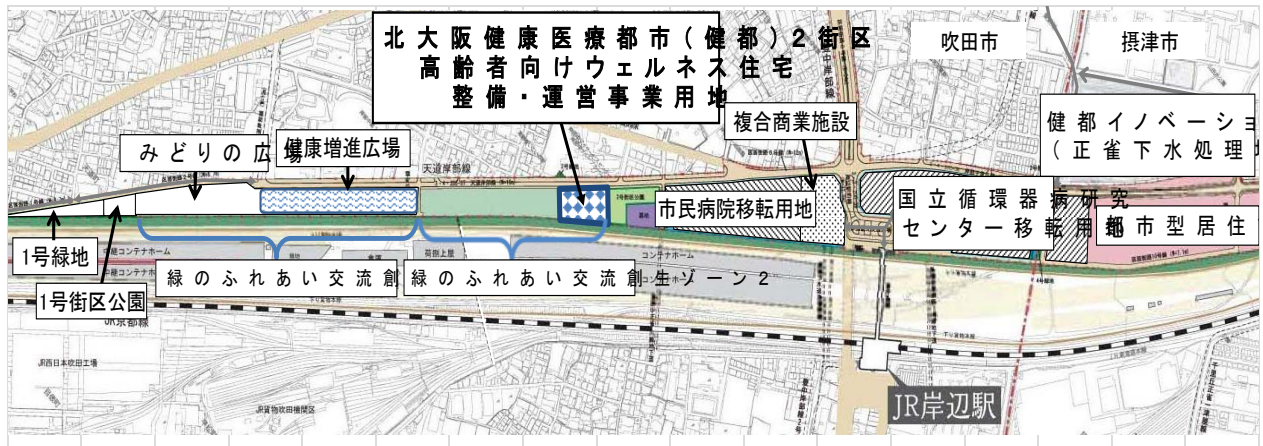
上記のとおり、平成 28 年 (2016 年) 3 月に公募を開始したものの、採算性を理由に事業提案がなかったことから、

- (1) 健康・医療のまちづくりに資するよう、機能水準を引き続き担保したうえで、
- (2) 事業採算性を確保できる方策について、市場の反応を踏まえ検討

3 今後の予定

本事業の実現性を見極めた再募集条件の設定後、速やかに公募実施の予定。なお、本住宅は、平成 30 年度 (2018 年度) 末の開設を目指す。

4 位置図等



位置 吹田市岸部新町6番及び7番
敷地面積 4,172.20 m²